

科目名	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	笠 修 彰						
開講年次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本講義は、精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ及びⅡに引き続いての学習内容である。これまでの講義で学習してきた精神保健福祉に関する歴史、基本的概念、基本原則と理論を土台として、精神障害者の地域移行・地域定着にむけた支援の実際や具体的展開について学習する。また地域を基盤としたリハビリテーションの基本的な考え方についての理解も促進する。						
授業の 到達目標	(1) 精神科リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割について理解する。 (2) 精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術および活用方法について理解する。 (3) 精神障害者の地域移行支援及び地域定着支援に関する基本的な考え方と支援体制の実際を理解する。 (4) 地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用方法について理解する。 (5) 精神保健福祉活動におけるスーパービジョン及びコンサルテーションの意義、方法、展開について理解する。 (6) 精神保健福祉実習のための知識、技能、態度の習得する。 (7) 精神保健福祉士の国家資格合格のための知識を習得する。						
学習方法	講義とビデオ学習など						
テキスト及び参考書等	日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座4・5 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ・Ⅱ』中央法規						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	○				60	
小テスト等	◎	○	○			30	
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			◎			10	
その他							
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第1週	地域移行の対象及び支援体制1 地域移行支援の対象と体制						
第2週	地域移行の対象及び支援体制2 精神保健福祉士の役割と他職種との連携						
第3週	地域移行の対象及び支援体制3 地域移行、地域定着を推進する事業						
第4週	地域移行の対象及び支援体制4 地域移行、地域定着にかかわる機関と組織						
第5週	地域移行の対象及び支援体制5 事例検討						
第6週	地域を基盤にしたリハビリテーション1 地域ネットワーク						
第7週	地域を基盤にしたリハビリテーション2 アウトリーチ						
第8週	地域を基盤にしたリハビリテーション3 地域生活支援事業と訪問援助						
第9週	地域を基盤にしたリハビリテーション4 セルフヘルプグループと家族会						
第10週	地域を基盤にしたリハビリテーション5 ボランティアの育成と活用						
第11週	地域を基盤にしたリハビリテーション6 事例検討						
第12週	スーパービジョンとコンサルテーション1 スーパービジョンの意義・方法・展開						
第13週	スーパービジョンとコンサルテーション2 コンサルテーションの意義・方法・展開						
第14週	後期の復習とまとめ						
第15週	まとめ (試験を含む)						
第16週							
備考							